

講座A

「ミンダナオの子ども、 日本の子ども 生きる力って何だろう」

松居友さん（ミンダナオ子ども図書館・館長）

極貧の生活にもかかわらずコミュニティーが生き、生活力や生きる力に満ちているミンダナオの山岳部に住むマノボ族などの姿、ミンダナオ子ども図書館での取り組みから、今、日本の子どもたちに何が必要か、本当の豊かさとは何かを話していきます。子どもたちが楽しく安心しておとなになっていけるように、仲間と互いに助け合っていけるように、私たちは何ができるのか共に考えあいましょう。

2 講座

10:00~12:00
各定員60名

講座B

「保育のなかの教育を考える」

お茶の水女子大学附属幼稚園 高橋陽子さん
平塚幼稚園 池田かよ子さん
豊川保育園 共田鍾貴さん
コーディネーター 田中浩司さん(首都大学東京)

幼稚園、保育園をとりまく制度が大きく変わるなか、改めて私たちが大切にしたい教育、保育とはなにかが問われています。それぞれの現場が積み上げてきた具体的な実践をもとに、保育園、幼稚園の境を越えて、皆さんと考えてみたいと思います。

—子どもたちが育ちあう仲間関係を—

分科会1 幼児の劇あそび

「絵本の世界を表現する
楽しさから劇づくりへ」

提案 板垣倫子さん(ひばり保育園 3歳)

運営委員 田代康子さん(東京保問研)

冬のお楽しみ会に向けて取り組んだ劇づくり。題材探しから演出方法など、今までクラスで楽しんできたことを活かした内容を考えていきました。目の前の子どもたちの姿から、試行錯誤して創りあげた劇あそびの活動をまとめました。

3 分科会

13:15~15:30
各定員40名

分科会2

幼児の集団づくり

「5歳児の保育の中で
大事にしたいことは・・・」

仲間がいるから・・・育ちあえる・・・」

提案 羽田久美子さん(武蔵野幼稚園 5歳)

運営委員 赤沼陽子さん(明星大学)

5歳児の生活を通して「やりたい」という意欲を大事に育てたいと思ってきました。日々の生活や活動の中でどう育てていくのか、悩みながらの日々でした。集団の中で子どもたちの響き合いを大事にしたい、そして、気になる子どもたちも一緒に安心して過ごせるクラス作りを目指しながら過ごしている今の姿を報告したいと思っています。

分科会3

乳児の身体づくり

「0,1歳児の継続した身体づくり」
—乳児期からの巧技台活動—

提案 鳩貝淳さん(桜田保育園 0・1歳)

運営委員 佐々木雄大さん(東京保問研)

0,1歳児で取り組んだ巧技台の実践です。実践では、生活リズムをつける中で、動く楽しさを感じられる様に意識して行ってきたことをまとめました。当日は発表とともに乳児期の運動について話し合えたらと思います。

2017



2017年2月12日(日)

10:00~16:30(受付9:30~)

お茶の水女子大学

東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」徒歩7分
大学内に入る際、本チラシをご提示下さい

一般2000円/保問研会員1500円/学生1000円

主催 東京保育問題研究会

見学 16:00~16:30

お茶の水女子大学
附属幼稚園